

PCT/JP03/09977

06.08.03

日 本 国 特 許 庁

JAPAN PATENT OFFICE

RECEIVED

29 AUG 2003

WIPO

PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 8月12日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-235186

[ST.10/C]:

[JP2002-235186]

出 願 人

Applicant(s):

三洋電機株式会社

三洋テレコミュニケーションズ株式会社

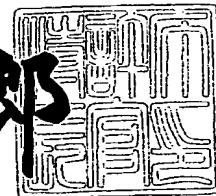
**PRIORITY
DOCUMENT**

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 7月 2日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田 信一郎



出証番号 出証特2003-3052291

特 2 0 0 2 - 2 3 5 1 8 6

【書類名】 特許願

【整理番号】 JJC1020075

【提出日】 平成14年 8月12日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 7/14
H04M 1/00
G03B 17/02
G03B 17/04

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大東市三洋町1番1号 三洋テレコミュニケーションズ株式会社内

【氏名】 浜 光司

【特許出願人】

【識別番号】 000001889

【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 301023711

【氏名又は名称】 三洋テレコミュニケーションズ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100090446

【弁理士】

【氏名又は名称】 中島 司朗

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014823

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

特 2002-235186

【包括委任状番号】 9004596

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 撮影機能付き通信端末、同端末用の制御プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザから撮影指示を受け付けたことに起因して、
撮影して映像データを生成し、かつ当該撮影指示を受け付ける前にユーザから指定されたメールアドレス宛のメールに当該映像データを自動添付することを特徴とする撮影機能付き通信端末。

【請求項 2】 前記撮影機能付き通信端末であって、
撮影前にユーザから映像データの送信先メールアドレスの指定を受け付けるメールアドレス指定受付手段と、
ユーザから撮影指示を受け付ける撮影指示受付手段と、
ユーザから撮影指示を受け付けた時に撮影して映像データを生成する生成手段と、

前記生成手段により映像データが生成されると共に、当該映像データを、前記メールアドレス指定受付手段により受け付けたメールアドレス宛のメールに自動添付する添付手段とを備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 3】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、
前記添付手段により映像データがメールに自動添付されると共に、当該メールを送信する送信手段を備えることを特徴とする請求項 2 に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 4】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、従来の撮影用シャッターボタンとしての機能が割り当てられた第 1 操作ボタンとは別に、撮影用シャッターボタンとしての機能が割り当てられた第 2 操作ボタンを備え、

前記第 2 操作ボタンの押下を検出したことに起因して、
撮影して映像データを生成し、かつ当該撮影指示を受け付ける前にユーザから指定されたメールアドレス宛のメールに当該映像データを自動添付することを特徴とする請求項 1 に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 5】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、従来の撮影モード用シャッ

ターボタンとしての機能が割り当てられた操作ボタンを備え、

前記操作ボタンが所定時間以上押下されたことを検出した場合に、撮影して映像データを生成し、かつ当該撮影指示を受け付ける前にユーザから指定されたメールアドレス宛のメールに当該映像データを自動添付することを特徴とする請求項 1 に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 6】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、

複数の操作ボタンと、

撮影前に前記各操作ボタンと、前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けた送信先メールアドレスとを対応付けて記憶する記憶手段とを備え

、
前記撮影指示の受付は、前記各操作ボタンのうちいずれか 1 つの押下を検出することにより行い、

前記生成手段は、前記操作ボタンのうちいずれか 1 つの押下を検出した時に撮影して映像データを生成し、

前記メール送信手段は、前記生成手段により映像データが生成された時に、当該映像データを前記添付手段によりメールに自動添付して、前記記憶手段に記憶されている、押下された操作ボタンと対応するメールアドレス宛に送信する

ことを特徴とする請求項 3 に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 7】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、

表示部と、

前記生成手段により映像データが生成された時に、当該映像データを前記表示部に表示して、当該映像データを保存するか否かをユーザに問い、ユーザから指示を受け付けるユーザ指示受付手段と、

ユーザから前記映像データを保存する指示を受け付けた場合に限り、当該映像データを保存し、かつ前記添付手段により当該映像データが添付されたメールを前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けたメールアドレス宛に送信する送信手段とを備える

ことを特徴とする請求項 2 に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 8】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、

表示部と、

前記生成手段により映像データが生成された時に、当該映像データと前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けた送信先メールアドレスとを表示部に表示して、当該映像データを添付したメールを当該送信先メールアドレスに送信するか否かをユーザに問い、ユーザから指示を受け付けるユーザ指示受付手段と、

ユーザから前記映像データを添付したメールを送信する指示を受け付けた場合に限り、当該メールを前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けたメールアドレス宛に送信する送信手段とを備える

ことを特徴とする請求項 2 に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 9】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、

現在日時情報を取得する現在日時取得手段と、

前記生成手段により生成された映像データが添付されたメールの文章記載部分に、撮影日時を記載する日時記載手段とを備える

ことを特徴とする請求項 1 ～ 8 のうちいずれか 1 項に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 10】 前記撮影機能付き通信端末は、更に、

現在地情報を取得する現在地情報取得手段と、

前記生成手段により生成された映像データが添付されたメールの文章記載部分に、現在地を記載する現在地記載手段とを備える

ことを特徴とする請求項 1 ～ 9 のうちいずれか 1 項に記載の撮影機能付き通信端末。

【請求項 11】 撮影前にユーザから映像データの送信先メールアドレスの指定を受け付けるメールアドレス指定受付ステップと、

ユーザから撮影指示を受け付ける撮影指示受付ステップと、

ユーザから撮影指示を受け付けた時に撮影して映像データを生成する生成ステップと、

前記生成ステップにより映像データが生成されると共に、当該映像データを、前記メールアドレス指定受付ステップにより受け付けたメールアドレス宛のメー

ルに自動添付する添付ステップとを含む

ことを特徴とする制御処理をプログラム実行可能な撮影機能付き通信端末に行わせる制御プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、撮影機能付き通信端末に関し、特に撮影により生成される映像データをメールに添付して送信する処理に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、携帯電話機やPDA (Personal Digital Assistance) 等の通信端末の多機能化が急速に進展し、中でも撮影機能付き通信端末がユーザの間で脚光を浴びている。撮影機能付き通信端末には、撮影レンズ及びCCD (Charge Coupled Device) 又はCMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) イメージセンサから成るカメラ部が備えられ、或いは当該カメラ部をオプションとして接続することができ、通信端末でありながらデジタルカメラとしての役割も果たす。

【0003】

撮影機能付き通信端末を用いて静止画を撮影する場合、ユーザはまず、当該端末の機能状態（モード）を撮影モードに設定する。撮影モードに設定された撮影機能付き通信端末は、カメラ部から逐次伝送される映像データを本端末に備わる表示部に再生表示する。ユーザは、表示部に再生表示された映像を確認しながらシャッターとしての役割が割り当てられたボタン（以下、単にシャッターボタンという。）を押す。撮影機能付き通信端末は、シャッターボタンが押された時にカメラ部が捕らえた映像を静止画の映像データとして生成し、内蔵メモリに所定の映像データ圧縮技術を用いて記録する。機種によっては、動画を撮影することができるものもある。

【0004】

圧縮記録された映像データは、撮影機能付き通信端末の表示部に再生表示させることができる他、撮影機能付き通信端末に備わるメール機能を利用して当該映像データをメールに添付する形で、他者の通信端末やユーザのパソコンに届くメールアドレス宛に送信することができる。ここでメールとは、通信ネットワークを通じてやりとりを行う電子的な手紙のことである。メールにはテキスト文章を記載することができる他、音声や映像データ等のバイナリーファイルを添付することができる。

【 0 0 0 5 】

メールの作成は、ユーザが撮影機能付き通信端末をメール作成モードに設定し、当該設定により表示部に表示される GUI (G r a p h i c a l U s e r I n t e r f a c e) のメール作成画面にユーザが、宛先であるメールアドレスや、件名、文章等を記載することにより行われる。この時、ユーザは映像データをメールに添付する設定を行うことができる。

【 0 0 0 6 】

撮影機能付き通信端末がユーザの間で脚光を浴びている一因としては、撮影した静止画等の映像データを、他の通信機器に接続しなくても本端末のメール機能を利用して他者の通信端末等に送ることができる点が挙げられる。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、撮影した静止画等の映像データを即座に他者の通信端末等へ送りたいと考えるユーザにとっては、映像の撮影後に本端末をメール作成モードに設定して、宛先の記入や、添付する映像データの選択といった一連のメール作成作業を行うことが煩雑に感じられる。

【 0 0 0 8 】

本発明は、撮影した静止画等の映像データをメールに添付して送る場合に、ユーザが感じる煩雑さを軽減するためになされたものであって、撮影により生成された映像データを、従来より簡単手軽にメールに添付して送信する撮影機能付き通信端末、及び同端末用の制御プログラムを提供することを目的とする。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明に係る撮影機能付き通信端末は、ユーザから撮影指示を受け付けたことに起因して、撮影して映像データを生成し、かつ当該撮影指示を受け付ける前にユーザから指定されたメールアドレス宛のメールに当該映像データを自動添付することを特徴とする。

【0010】

また、本発明に係る制御プログラムは、撮影前にユーザから映像データの送信先メールアドレスの指定を受け付けるメールアドレス指定受付ステップと、ユーザから撮影指示を受け付ける撮影指示受付ステップと、ユーザから撮影指示を受け付けた時に撮影して映像データを生成する生成ステップと、前記生成ステップにより映像データが生成されると共に、当該映像データを、前記メールアドレス指定受付ステップにより受け付けたメールアドレス宛のメールに自動添付する添付ステップとを含むことを特徴とする。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る撮影機能付き通信端末の実施形態1及び実施形態2について図面を用いて説明する。

<実施形態1>

<構成>

図1は、本発明に係る撮影機能付き通信端末の一例の外観図である。図1（A）は、撮影機能付き通信端末1の正面図を示し、図1（B）は、撮影機能付き通信端末1の背面図を示す。

【0012】

図2は、本発明に係る撮影機能付き通信端末1の機能ブロック図である。

撮影機能付き通信端末1は、外観から確認できる操作部2、表示部3、カメラ部4の他、内部にカメラI/F部5、制御部6、送受信部7、変復調部8から構成される。なお、本発明を説明する上で特に説明することを要しない機能については省略している。

【0013】

操作部2は、制御部6と接続されており、0から9までのテンキーボタン、メニューボタン、OKボタン、アドレスボタン、ファンクションボタン、メールボタン、サイドボタン等の各種操作ボタンを含み、各種操作ボタンがユーザから押下されることにより、ユーザの各種指示を受け付ける機能を有する。ユーザから受け付ける指示は、例えば、数字、文字等の入力指示、アドレス表表示指示、メール作成画面表示指示、メニュー画面表示指示等が挙げられる。受け付けた各種指示は、制御部6に伝送される。

【0014】

各種操作ボタンには、ユーザから受け付ける指示内容が割り当てられるが、撮影機能付き通信端末1の機能状態（モード）によって、割り当てられる指示内容は変更する。例えば、テンキーボタンは、通常の待ち受けモード時には、「1、2、3、、、」等の数字入力指示を受け付けるボタンとして機能するが、メール作成モードにおいては、数字以外に「A、B、C、、、」や「あ、い、う、、、」等の、文字入力指示を受け付けるボタンとして機能する。また、撮影モード時には、図1に示されるOKボタン又はサイドボタンがシャッター指示を受け付けるボタンとして機能する。

【0015】

表示部3は、制御部6と接続されており、カラー液晶表示装置、DMD（デジタル・ミラー・デバイス）、又は有機EL（Electro Luminescence（電界発光））表示装置等から成る。待ち受けモード時にアニメーションの待ち受け画面表示や、撮影モード時にカメラ部4において生成された映像データを再生表示する機能を有する。

【0016】

制御部6は、マイクロプロセッサ、DSP（Digital Signal Processor）、ROM（Read Only Memory）、RAM（Random Access Memory）等から構成されており、ROMに格納されている制御プログラムに従って、各種の制御を行う機能を有する。例えば、制御部6は、ユーザから操作部2を介して撮影モードに設定する指示を受け付けると、カメラI/F部5から伝送される映像データを受けて、表示部3に

映像データを再生表示させる。

【0017】

RAMには、ユーザが設定登録した友人の名前、電話番号及びメールアドレス等を表として記録している他、撮影により生成され、圧縮された映像データが記録されている。

RAMに記録された映像データには、静止画や動画があり、静止画の圧縮記録形式としては、JPEG (Joint Photographic Expert Group) 形式やPNG (Portable Network Graphics) 形式等が挙げられ、動画の圧縮記録形式としてはMPEG (Moving Picture Experts Group) 形式や、Nancyファイル形式等が挙げられる。

【0018】

カメラ部4は、カメラI/F部5と接続されており、撮影レンズとCCD（又はCMOSイメージセンサ）等から成る。撮影機能付き通信端末1が撮影モードに設定されると、撮影レンズを介して半導体受光素子の受光面に結像された映像を各受光素子における入射光量に応じた大きさの電気信号に変換し、更に当該電気信号をA/D変換したデジタル信号をカメラI/F部5に伝送する。

【0019】

カメラI/F部5は、ビデオ出力回路、ワークメモリ等から成り、撮影機能付き通信端末1が撮影モードに設定されると、カメラ部4から伝送されるデジタル信号を受けてビデオ出力回路により色調補正、解析度変換等の画像処理を行い、ビデオ出力可能な映像データとして制御部6に伝送する。また、制御部6から撮影指示を受けると、当該指示を受けた時に生成された映像データをワークメモリに一時記録すると共に、当該映像データを、例えば静止画であればJPEG等の所定の圧縮方式で圧縮し、圧縮された映像データを制御部6に伝送する機能を有する。

送受信部7は、通信データの送受信を行う機能を有する。ここで、通信データとは、通話の音声データ、メールのパケットデータ、及び通信制御のために用い

られる制御データ等のことをいう。

【 0 0 2 0 】

変復調部 8 は、送信用通信データを変調し、受信用通信データを復調する機能を有する。

< データ 1 >

図 3 は、制御部 6 の RAM に記録されているアドレス表の具体例を示す図である。アドレス表 2 0 は、名前、電話番号、メールアドレスの他、映像データ自動添付フラグの項目を有する。映像データ自動添付フラグは、撮影機能付き通信端末 1 が撮影モードに設定される前に撮影設定用の GUI 画面にて、ユーザから指定されたメールアドレスに付加される。撮影設定用の GUI 画面は、操作部 2 のメニューボタンがユーザから押されることにより表示されるメニュー画面から選択することにより表示することができる。

【 0 0 2 1 】

図 3 では、「サトウ サブロウ」のメールアドレス「〇×△@〇〇〇. c o. j p」に対してのみ映像データ自動添付フラグが付加されているが、複数のメールアドレスに付加することも可能である。

< 動作 1 >

図 4 は、撮影機能付き通信端末 1 における、映像の撮影から、当該撮影により生成された映像データをメールに添付して送信するまでの処理を示すフローチャートである。

【 0 0 2 2 】

まず、撮影機能付き通信端末 1 が撮影モードに設定されると（ステップ S 1 : Y e s）、制御部 6 は RAM に記憶されているアドレス表に基づいて、映像データ自動添付フラグが付加されたメールアドレスを宛先としたメールを作成する。

続いて、ユーザからシャッターボタンが押されると（ステップ S 2 : Y e s）、制御部 6 は撮影指示の信号をカメラ I / F 部 5 に伝送し、カメラ I / F 部 5 は当該指示を受けてワークメモリに一時記憶した映像データを圧縮し、圧縮された映像データを制御部 6 に伝送する。制御部 6 は、カメラ I / F 部 5 から伝送された映像データをメールに添付し、当該メールを送信する（ステップ S 3）。以後

、ステップ S 1 に戻る。

【 0 0 2 3 】

なお、メール送信後に制御部 6 は、送信したメールに添付した映像データと、宛先のメールアドレスを表示部 3 に表示させてもよい。図 5 は、その具体例である。これにより、送信したメールに添付された映像データをユーザは確認することができ、また、宛先も確認することができる。

＜実施形態 2＞

続いて、本発明に係る撮影機能付き通信端末の実施形態 2 について図面を用いて説明する。なお、実施形態 2 の撮影機能付き通信端末の構成は、実施形態 1 において説明した撮影機能付き通信端末 1 と同じであるため説明は省略し、実施形態 1 と異なる点である、アドレス表のデータ構造と、映像の撮影から、当該撮影により生成された映像データをメールに添付して送信するまでの処理について説明する。

【 0 0 2 4 】

＜データ 2＞

図 6 は、実施形態 2 の制御部 6 の R A M に記録されているアドレス表の具体例を示す図である。アドレス表 3 0 は、名前、電話番号、メールアドレスの他、割当シャッターボタンの項目を有する。割当シャッターボタンは、撮影機能付き通信端末 1 が撮影モードに設定される前に撮影設定用の G U I 画面にて、ユーザがメールアドレスに操作部 2 の各種操作ボタンをアドレス表に記載されているメールアドレスに割り当てることにより設定される。

【 0 0 2 5 】

図 6 に示される例では、操作ボタンである「1」ボタン、「2」ボタン、「3」ボタン及び「サイドボタン」が割当シャッターボタンとして設定されており、例えば、「1」ボタンはメールアドレス「〇〇〇@×××. c o m」と対応付けられている。

＜動作 2＞

図 7 は、実施形態 2 の撮影機能付き通信端末 1 における、映像の撮影から、当該撮影により生成された映像データをメールに添付して送信するまでの処理を示

すフローチャートである。

【0026】

まず、撮影機能付き通信端末1が撮影モードに設定されると（ステップS10：Yes）、制御部6は宛先が空白状態のメールを作成する。

続いて、ユーザから割当シャッターボタンのうちいずれか1つが押されると（ステップS11：Yes）、制御部6は撮影指示の信号をカメラI/F部5に伝送し、カメラI/F部5は当該指示を受けてワークメモリに一時記憶した映像データを圧縮し、圧縮された映像データを制御部6に伝送する。制御部6は、RAMに記憶されているアドレス表に基づいて、ユーザから押された割当シャッターボタンと対応付けられたメールアドレスを宛先とし、カメラI/F部5から伝送された、圧縮された映像データをメールに添付し、当該メールを送信する（ステップS12）。

【0027】

<補足>

以上、本発明に係る撮影機能付き通信端末について実施形態1及び実施形態2を示して説明したが、本発明はこれらの実施形態に限られないことは勿論である。即ち、

(1) 実施形態1において、本発明に係る撮影機能付き通信端末のシャッターボタンは、OKキー又はサイドボタンとしていたが、これに限られず、いずれかの操作ボタンがシャッターボタンとして設定されていてもよい。

(2) 各実施形態において本発明に係る撮影機能付き通信端末は、シャッターボタンがユーザから押下されることにより映像を撮影して、当該撮影により生成された映像データをメールに添付してメール送信する動作を行ったが、ユーザの音声に反応して同様の動作をする撮影機能付き通信端末であってもよい。また、セルフタイマー機能により同様の動作をする撮影機能付き通信端末であってもよい。

(3) 本発明に係る撮影機能付き通信端末は、従来の撮影モードとは別に、各実施形態で説明したような撮影モードであるワンタッチ送付モードを設けていてもよいし、従来の撮影モード用のシャッターボタンとは別に、ワンタッチ送付モー

ド用のシャッターボタンを設けていてもよい。更に、従来の撮影モード用のシャッターボタンを併用して、当該シャッターボタンが長押しされると各実施形態において説明したようなワンタッチ送付が行われるものであってもよい。

(4) 各実施形態において、本発明に係る撮影機能付き通信端末が撮影モードに設定された後、ユーザからシャッターボタンが押下されるとそのワンタッチ動作のみで、映像を撮影して、当該撮影により生成された映像データをメールに添付して、指定された宛先に当該メールを送信したが、これに限られず、本発明に係る撮影機能付き通信端末はユーザからシャッターボタンが押下されると、生成された映像データを一旦表示部に再生表示し、当該映像データを保存するか否かの選択をユーザが行うことができるステップを含む制御処理を行うものであってもよい。

【 0 0 2 8 】

この場合ユーザが、表示部に再生された映像データを確認して映像データを保存する指示を行うと、当該映像データは撮影機能付き通信端末の内蔵メモリ等に記録保存されて、かつ当該映像データが添付されたメールを指定された宛先に送信する制御処理を行う。

また、本発明に係る撮影機能付き通信端末はユーザからシャッターボタンが押下されると、生成された映像データを表示部に再生表示し、かつ宛先メールアドレスを表示することにより、当該映像データを表示された宛先メールアドレスに送信するか否かの選択をユーザが行うことができるステップを含む制御処理を行うものであってもよい。

【 0 0 2 9 】

この場合ユーザが、表示部に再生された映像データ及び宛先メールアドレスを確認して送信する指示を行うと、当該映像データが添付されたメールを指定された宛先に送信する制御処理を行う。

(5) 本発明に係る撮影機能付き通信端末に現在日時情報を取得する機能が備わっていれば、図4のステップS3及び図7のステップS12において、撮影した日時をメールの件名記載箇所、又は文章記載箇所に記載するようにしてもよい。同様に、撮影機能付き通信端末1に現在地情報を取得する機能が備わっていれば

、図 4 のステップ S 3 及び図 7 のステップ S 1 2 において、撮影した場所をメールの件名記載箇所、又は文章記載箇所に記載するようにしてもよい。また、これら 2 つの機能が撮影機能付き通信端末 1 に備わっていれば、日時と撮影場所共にメールの件名記載箇所、又は文章記載箇所に記載するようにしてもよい。

(6) 各実施形態において示した本発明に係る撮影機能付き通信端末における、映像の撮影から、当該撮影により生成された映像データをメールに添付して送信するまでの処理手順(図 4 又は図 7 に示した手順等)を、プログラム実行機能を有する撮影機能付き通信機器に実行させるための制御プログラムを、記録媒体に記録し又は各種通信路等を介して、流通させ頒布することができる。

【0030】

かかる記録媒体には、ICカード、光ディスク、フレキシブルディスク、ROM等がある。流通、頒布された制御プログラムは、プログラム実行機能を有する撮影機能付き通信機器にインストールされることにより利用に供され、その撮影機能付き通信機器は、その制御プログラムを実行して、各実施形態に示したような撮影機能付き通信端末 1 としての機能を実現する。

【0031】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように本発明に係る撮影機能付き通信端末は、ユーザから撮影指示を受け付けたことに起因して、撮影して映像データを生成し、かつ当該撮影指示を受け付ける前にユーザから指定されたメールアドレス宛のメールに当該映像データを自動添付することを特徴とする。

【0032】

また、前記撮影機能付き通信端末であって、撮影前にユーザから映像データの送信先メールアドレスの指定を受け付けるメールアドレス指定受付手段と、ユーザから撮影指示を受け付ける撮影指示受付手段と、ユーザから撮影指示を受け付けた時に撮影して映像データを生成する生成手段と、前記生成手段により映像データが生成されると共に、当該映像データを、前記メールアドレス指定受付手段により受け付けたメールアドレス宛のメールに自動添付する添付手段とを備えることとしてもよい。

【 0 0 3 3 】

これらの構成により、ユーザは撮影機能付き通信端末に撮影指示を行うだけで、撮影により生成された映像データはメールに自動添付されるので、従来より簡単に、撮影により生成された映像データをメールに添付して送信することができる。

また、前記撮影機能付き通信端末は、更に、前記添付手段により映像データがメールに自動添付されると共に、当該メールを送信する送信手段を備えることとしてもよい。

【 0 0 3 4 】

この構成により、撮影指示から当該撮影指示により撮影され生成された映像データを添付したメールの送信までを1つの指示で行うことができる。

前記撮影機能付き通信端末は、更に、従来の撮影モード用シャッターボタンとしての機能が割り当てられた第1操作ボタンとは別に、シャッターボタンとしての機能が割り当てられた第2操作ボタンを備え、前記第2操作ボタンの押下を検出したことに起因して、撮影して映像データを生成し、かつ当該撮影指示を受け付ける前にユーザから指定されたメールアドレス宛のメールに当該映像データを自動添付することとしてもよい。

【 0 0 3 5 】

これにより、ユーザは従来の撮影モード用のシャッターボタンと、各実施形態で説明した本発明に係る撮影モード用のシャッターボタンとを用途に応じて簡単に使い分けることができる。例えば、ただ単に撮影により生成された映像データをメールに添付して送る必要がない場合は、従来の撮影モード用のシャッターボタンを使用し、撮影後直ちにメールに映像データを添付して送りたい場合は、本発明に係る撮影モード用のシャッターボタンを使用すればよい。

【 0 0 3 6 】

前記撮影機能付き通信端末は、更に、従来の撮影モード用シャッターボタンとしての機能が割り当てられた操作ボタンを備え、前記操作ボタンが所定時間以上押下されたことを検出した場合に、撮影して映像データを生成し、かつ当該撮影指示を受け付ける前にユーザから指定されたメールアドレス宛のメールに当該映

像データを自動添付することとしてもよい。

【0037】

これにより、ユーザはシャッターボタンである操作ボタンを所定時間以上長押しするか否かで、従来の撮影モードによる撮影と、本発明に係る撮影モードによる撮影とを用途に応じて簡単に使い分けることができる。

また、前記撮影機能付き通信端末は、更に、複数の操作ボタンと、撮影前に前記各操作ボタンと、前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けた送信先メールアドレスとを対応付けて記憶する記憶手段とを備え、前記撮影指示の受付は、前記各操作ボタンのうちいずれか1つの押下を検出することにより行い、前記生成手段は、前記操作ボタンのうちいずれか1つの押下を検出した時に撮影して映像データを生成し、前記メール送信手段は、前記生成手段により映像データが生成された時に、当該映像データを前記添付手段によりメールに自動添付して、前記記憶手段に記憶されている、押下された操作ボタンと対応するメールアドレス宛に送信することとしてもよい。

【0038】

この構成により、ユーザから各操作ボタンのうち1つが押下されることにより生成された映像データを、押下された操作ボタンと対応するメールアドレス宛に送信するので、宛先選択と撮影とメール送信を1つの動作で行うことができる。

また、前記撮影機能付き通信端末は、更に、表示部と、前記生成手段により映像データが生成された時に、当該映像データを前記表示部に表示して、当該映像データを保存するか否かをユーザに問い、ユーザから指示を受け付けるユーザ指示受付手段と、ユーザから前記映像データを保存する指示を受け付けた場合に限り、当該映像データを保存し、かつ前記添付手段により当該映像データが添付されたメールを前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けたメールアドレス宛に送信する送信手段とを備えることとしてもよい。

【0039】

この構成により、ユーザは、撮影と共に生成された映像データをメールに添付して送信する前に、表示部に表示された映像データを確認して保存し、かつ当該映像データをメールに添付して送信するかどうかを選択することができる。

また、前記撮影機能付き通信端末は、更に、表示部と、前記生成手段により映像データが生成された時に、当該映像データと前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けた送信先メールアドレスとを表示部に表示して、当該映像データを添付したメールを当該送信先メールアドレスに送信するか否かをユーザに問い、ユーザから指示を受け付けるユーザ指示受付手段と、ユーザから前記映像データを添付したメールを送信する指示を受け付けた場合に限り、当該メールを前記メールアドレス指定受付手段によりユーザから受け付けたメールアドレス宛に送信する送信手段とを備えることとしてもよい。

【0040】

この構成により、ユーザは、撮影と共に生成された映像データをメールに添付して送信する前に、表示部に表示された映像データと宛先のメールアドレスを確認して送信するかどうかを選択することができる。

また、前記撮影機能付き通信端末は、更に、現在日時情報を取得する現在日時取得手段と、前記生成手段により生成された映像データが添付されたメールの文章記載部分に、撮影日時を記載する日時記載手段とを備えることとしてもよい。

【0041】

この構成により、映像の撮影と共に生成された映像データを添付したメールを送信する場合においても、メールの文章記載部分に自動的に撮影日時が記載される。

また、前記撮影機能付き通信端末は、更に、現在地情報を取得する現在地情報取得手段と、前記生成手段により生成された映像データが添付されたメールの文章記載部分に、現在地を記載する現在地記載手段とを備えることとしてもよい。

【0042】

この構成により、映像の撮影と共に生成された映像データを添付したメールを送信する場合においても、メールの文章記載部分に自動的に撮影場所が記載される。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る撮影機能付き通信端末の一例の外観図である。

【図 2】

本発明に係る撮影機能付き通信端末の一例の機能ブロック図である。

【図 3】

実施形態 1 におけるアドレス表の具体例である。

【図 4】

実施形態 1 において、撮影から、当該撮影により生成された映像データを添付したメールを送信するまでのフローチャートである。

【図 5】

実施形態 1 において、映像データを添付したメールを送信した後に表示部に表示される画面の一例である。

【図 6】

実施形態 2 におけるアドレス表の具体例である。

【図 7】

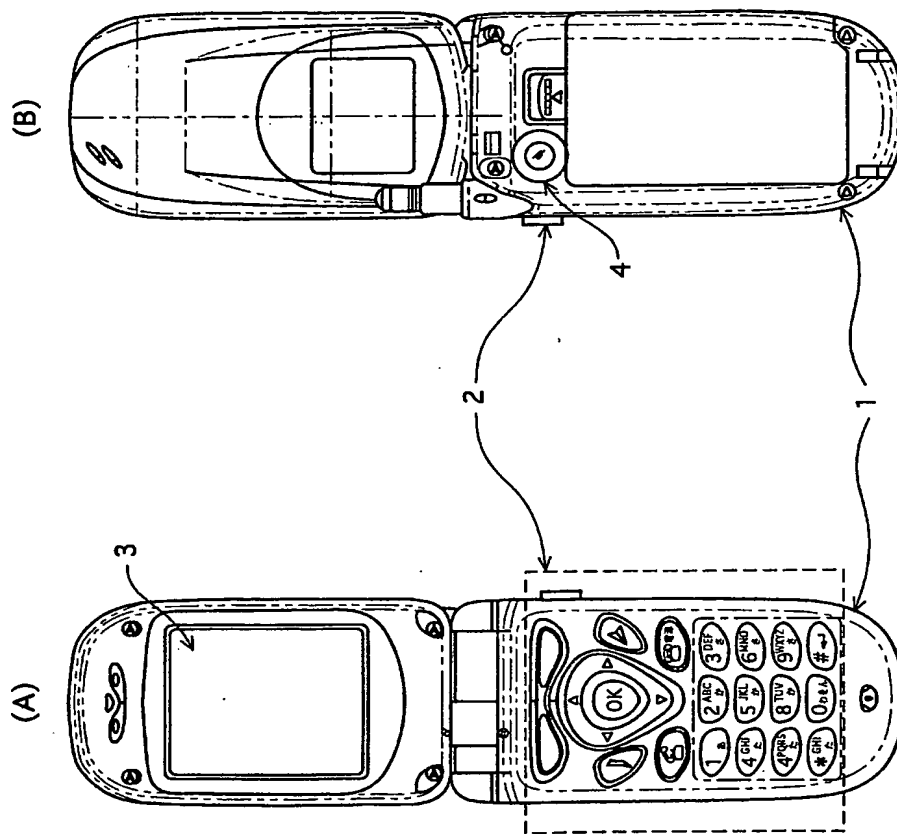
実施形態 2 において、撮影から、当該撮影により生成された映像データを添付したメールを送信するまでのフローチャートである。

【符号の説明】

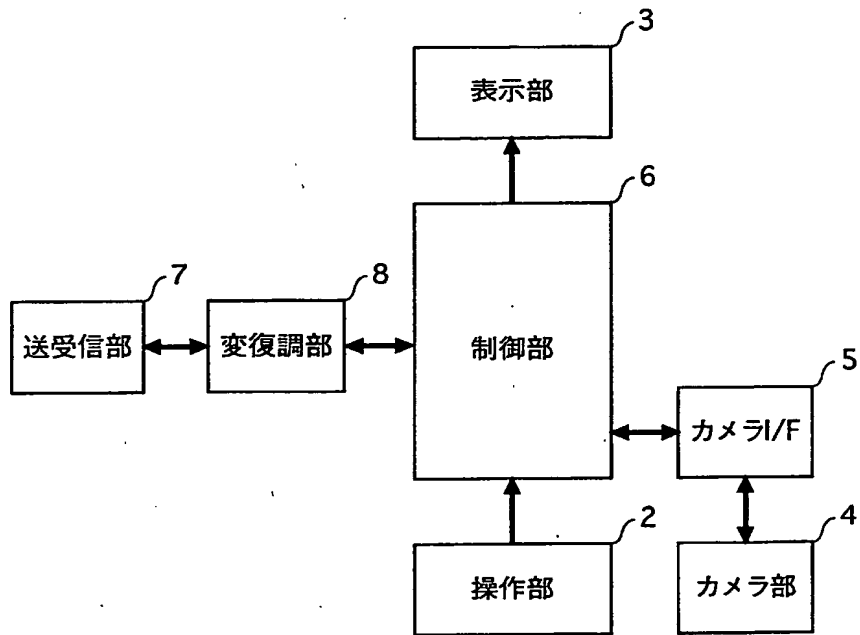
- 1 撮影機能付き通信端末
- 2 操作部
- 3 表示部
- 4 カメラ部
- 5 カメラ I / F 部
- 6 制御部
- 7 送受信部
- 8 変復調部

【書類名】 図面

【図 1】



【図2】

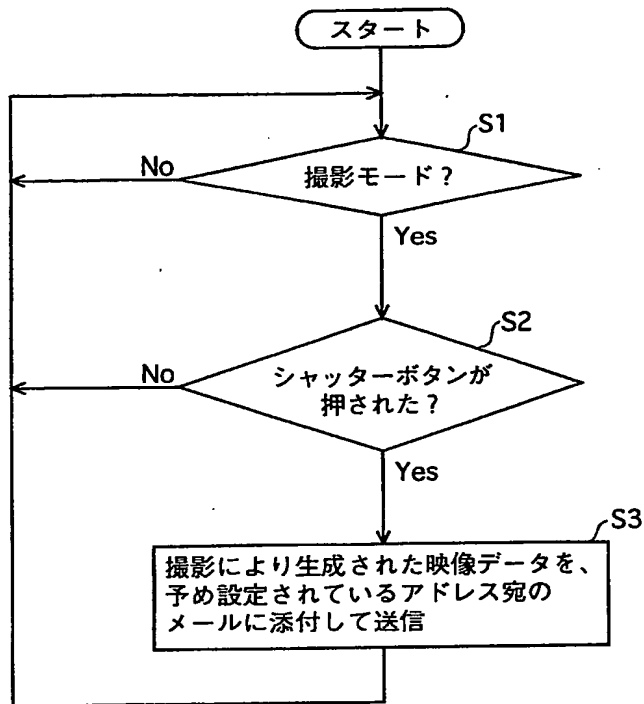


【図 3】

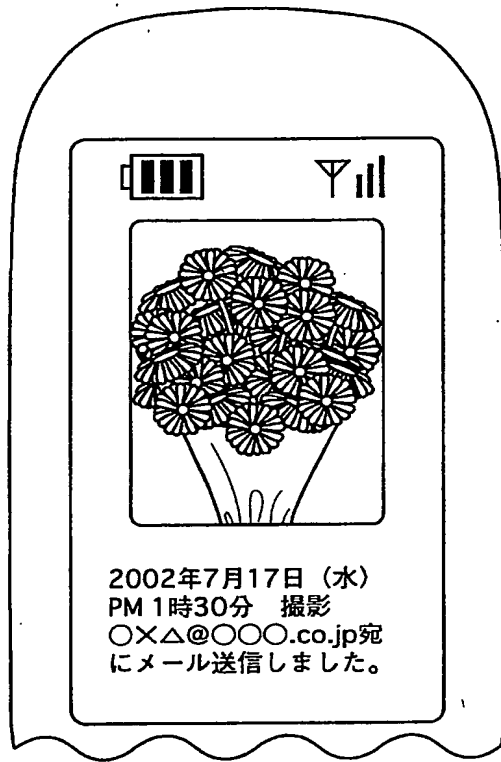
20

名前	電話番号	メールアドレス	映像データ自動添付フラグ
ヤマダ タロウ	090-△X○X-○X×○	○○○@×××.com	
スズキ ジロウ	070-X△X○-○△△○	○X○@△X○.or.jp	
サトウ サブロウ	090-□X△△-△△××	○X△@○○○.co.jp	○
イトウ ハナコ	06-○X△△-△○××	○△△@○○X.ac.jp	

【図 4】



【図5】

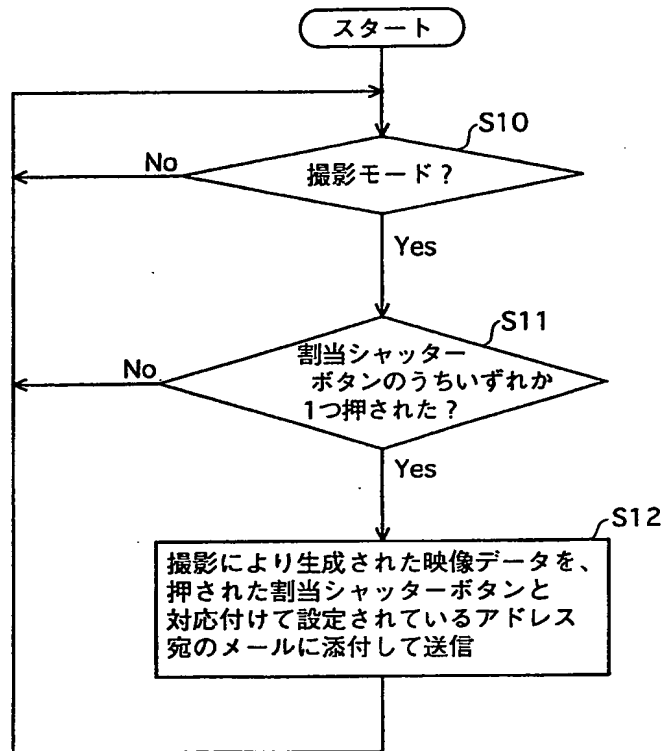


【図6】

30

名前	電話番号	メールアドレス	割当チャッターボタン
ヤマダ タロウ	090-△XOX-△XOX	○○○@XXX.com	1
スズキ ジロウ	070-X△XO-△△△	○X○@△X○.or.jp	2
サトウ サブローウ	090-□X△△-△△XX	○X△@○○○.co.jp	3
イトウ ハナコ	06-○X△△-△○XX	○△△@○○X.ac.jp	サイドボタン

【図7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 撮影により生成された映像データを、従来より簡単手軽にメールに添付して送信する撮影機能付き通信端末を提供する。

【解決手段】 撮影機能付き通信端末が撮影モードに設定される前に、ユーザから映像データの送信先メールアドレスの指定を受け付ける。そして、本通信端末が撮影モードに設定されている間にユーザからシャッターボタンが押されると、映像データを生成し、メールに当該映像データを自動添付して、撮影前にユーザから指定されたメールアドレス宛に当該メールを送信する。

【選択図】 図 4

特2002-235186

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001889]

1. 変更年月日	1993年10月20日
[変更理由]	住所変更
住 所	大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
氏 名	三洋電機株式会社

特 2002-235186

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [301023711]

1. 変更年月日	2001年 4月 4日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府大東市三洋町1番1号
氏 名	三洋テレコミュニケーションズ株式会社